

第11回身体障害者安全運転競技大会が開催されました

5月27日(日)城西福祉会で、第11回身体障害者安全運転競技大会が行われ、名身連の会員を含め16名の方(欠席者3名)が参加されました。

柴田理事長から冒頭挨拶で「今回も定員15名の所、多くの方にご応募頂き誠にありがとうございます。日ごろの運転技術を遺憾なく発揮して下さい。」とお言葉を頂きました。

今大会は午前が学科、午後に実技という日程でした。学科テストは最近、成績が上がっている為、多くの難問が出題されました。解答合わせの時には、多くの方から「引っ掛け問題が多すぎます。」「もう一度教えて下さい。」など盛んに質問されていました。

北警察署の交通課長さんからLEDの信号機についてお話がありました。現在、愛知県内で1万5千機の信号機が設置されています。その約半分がLEDの信号機に変わっています。LEDに変える事で電気代も30%削減。視認性が優れている為、事故減少にも繋がっていると報告がありました。

午後からはかんかん照りの中、実技が行われました。今回から40km加速ゾーンが追加されました。参加者からは時速40kmをキープするのは難しいと感想が聞かれました。その他にも、毎回難関のクランクや8の字で脱輪をして悔しがる姿も印象でした。

次回は10月に開催を予定しています。皆様も今一度、運転技術を見直してみたいかかがでしょうか。



緊張しながら順番を待つ参加者